

## 課題対応取組み報告書

【共通】

名称	昭和地域総合相談窓口
提出日	令和 6 年 6 月 24 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	認知症の方や地域の方など、誰もが気軽に参加できる「集いの場」の構築を目指して	
地域ケア会議から 見えてきた課題	○潜在的なニーズのある方や、ニーズはあるが支援に繋がっていない層へのアプローチができていない。 ○早期発見・早期対応に向けたアプローチ (総合相談窓口「以下「ランチ」という) の周知等) がまだまだ弱い。 ○認知症 (精神疾患含む) に対する一般市民の知識や理解が不足しており、更なる周知が必要。 ○新型コロナウイルス流行後、地域の集いの場も少しずつ再開しているが、認知症の方やその家族が気軽に集える場所が少ない。	
対象	認知症当事者やその家族、地域住民、地域関係者、各支援機関	
地域特性	南北に長い地域で、北部は新しいマンションが多く、中部は古くからの住宅、南部は単身者向けのマンションや文化住宅が多い。地域によって経済格差が大きい。南部と北部には地下鉄の駅、南東部にはJRの駅があるが、どちらも駅まで徒歩で移動が困難な高齢者が多く、公共交通機関の利便性が確保されていない。	
活動目標	○認知症当事者やその家族、地域住民など、誰もが気軽に参加できる認知症カフェ (集いの場) を開設する。 ○認知症カフェを通じて、認知症の人やその家族同士が情報交換するだけでなく、気軽に相談できる機会を設けることで孤立防止や介護負担の軽減を図るとともに、早期発見・早期対応を目指す。 ○認知症に対する正しい理解を深める機会を作る。	
活動内容 (具体的取組み)	○認知症カフェ開設に向けて、認知症強化型地域包括支援センターや認知症初期集中支援チーム、社会福祉協議会と連携し夏頃より開設準備を始め、連合町会長・地域活動協議会・地域福祉コーディネーターの協力を得て、地域への周知を行い 令和6年9月より高齢者デイサービスセンターいくとくIIにて、圏域内初となる認知症カフェ (オレンジカフェいくとく2) をオープンした。月1回の開催 (毎月第一土曜日13時～15時) で、定員12名の小規模なカフェ。 ○地域住民や認知症当事者、その家族等の参加者に、飲み物と軽食を提供し、テーブルにはスタッフも入り、慌ただしくない落ち着いた雰囲気での交流が楽しめるように、談笑だけでなく、積み木ゲームや折り紙工作等も取り入れ、参加者同士楽しく過ごすことができる環境を構築している。 ○認知症や健康にまつわるミニ講座等も同時に開催し、認知症に対する正しい理解促進を行っている。 ○介護に関することや認知症に関する事など、様々な相談内容をその場で対応している。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	○小規模のカフェだが、認知症の方や家族介護者、地域住民、地域福祉コーディネーターや女性部長等の地域関係者など様々な方が参加し、カフェを通じて自然な形で和やかな参加者同士の交流が生まれ、認知症への正しい理解が深まる機会になっている。また、参加者が新たな参加者を誘い、誰でも気軽に参加できる集いの場の構築ができています。 ○参加者や参加者の紹介等で、介護に関することや認知症に関する事などの相談を受ける機会が増え、早期発見・早期対応に繋がり、孤立防止や介護負担の軽減を図ることができている。 ○認知症カフェを通じて、ランチの周知にも繋がり、顔の見える関係作りができています。	
今後の課題	○認知症カフェについては、アットホームな12席の為、慌ただしくない落ち着いた雰囲気での、様々な方との交流を楽しめるカフェ運営を継続し、楽しく認知症への理解を深め交流できる機会を企画し、どなたがいつ来られても楽しめる場「地域の居場所」づくりを大切にしていきたい。 ○認知症への正しい理解については、地域単位で見るとまだまだ浸透していない。今後は認知症カフェ以外にも、幅広い世代の地域住民に対し、認知症への理解促進に向けたアプローチを、認知症強化型包括やオレンジチーム、地域関係機関と連携し取組み、認知症になっても安心して住み続けられるまちづくりを目指す。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和6年7月31日 (水)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input type="checkbox"/> 専門性 <input type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目 (特性) についてのコメント  * 今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見を記載。	認知症カフェの新たな立ち上げという拠点づくりを地域住民や認知症強化型包括などの他機関と共に成功した。地域の新たな財産となっていくことを強く願う。地区診断に基づき、不足する社会資源を構築したことは「地域性」「継続性」に該当する。連合町会長や民生委員、地域福祉コーディネーターなどの地域住民と相談し、協力を得て実現したことは「拡張性」「浸透性」に該当する。社会福祉協議会や認知症強化型地域包括支援センターなどの他機関と協働して取り組んだことは「専門性」に該当する。虐待の状態に陥る恐れがあった認知症高齢者の居場所として本人も家族もサポートできる場となるなど、目に見える成果も得られており、今後も継続した居場所として機能することを期待する。	